

## 新サイト「グッドサイクルいこま」の概要

### 1 サイトの目的

単なる転入促進のサイトではない。

以下を三位一体で進めるポータルサイトとして運用し、都市活力を維持向上していくことが目的。

市民には・・・自己実現の後押し、まちへの共感・シビックプライド醸成、推奨意欲向上

市外には・・・生駒暮らしの発信、都市イメージ向上

庁内には・・・新総合計画（案）に掲げる「脱ベッドタウン」に向けた戦略な事業支援・部門間連携の推進

### 2 サイトが想定するメインターゲット

○就学前の子どもと乳児がいる二児の母

○大阪で働く夫がいて、住む場所を探している 33 歳～38 歳の女性

### 3 テーマカラー

今までの緑というシンボルカラーではなく「パッションスカーレット」をサイトのイメージカラーに。生駒を形どる重要なファクターは市民一人ひとり。人々のまちへの愛情やアクティブでエネルギー、情熱的な内面を表現。

### 4 サイト名

サイト名を考えるにあたっては「いこまち宣伝部」「シビックパワーバトル参加者」「市内で起業する人や市民活動をする人」へのヒヤリングを重ね、「出会いが自分をバージョンアップさせてくれた」「生駒を楽しむ人の輪に入ったら、生駒が好きになった」「人のチャレンジを茶化さない空気がある」「一度楽しいことをしたら、また何かしたくなる」といった言葉や新総合計画（案）の都市像を考慮して決定。

### 5 ポータルサイトの活用

このポータルサイトを基軸にまちづくりと各課連携を進めていく。

起業、ソーシャルビジネスの支援、リノベーション事例、まちづくりのプレイヤー育成、公園、道路といった公共空間の活用など、生駒の新たな価値創造につながるような、各課が実施する戦略的な事業を広報紙、公式ホームページとは違う視点で編集して発信する。

### 6 協創

○「いこまのまち」はいこまち宣伝部が取材・記事制作を担当。

来年度もいこまち宣伝部が中心に編集し、サイトの持続的な運用を実現する。

○障害者優先調達推進法に基づいて「あたらしい・はたらくを・つくる福祉型事業協同組合」に委託。ディレクション、デザイン、コピー、取材・撮影を「合同会社オフィスキャンプ」がサイト構築・コーディングなどを「社会福祉法人 ぷろぼの」が担当。

### 7 新しい切り口

郊外型ベッドタウンはベッドタウンに相応しい暮らしを前面にPRすることが多いが、生駒は従来のベッドタウン型ではないライフスタイルを前面に出し、従来型のベッドタウンにとどまらない生駒市が目指す姿を見せている。「いこまのひと」ではそういう暮らし方を実現している方を紹介している。

